

平成20年度第4回岡山市総合政策審議会総務・社会部会会議要録

- 1 日 時 平成20年8月5日(火) 午後2時～3時45分
- 2 場 所 職員研修所2階 第2研修室
- 3 出席委員 井上部会長、片山副部長、王委員、貝畑委員、古南委員、田代委員、戸部委員
- 4 出席職員 総務局長、総務局審議監、人事課長、職員課長他
- 5 議 題 (1) 議員の報酬、期末手当について
(2) 市長、副市長、代表監査委員の給料、期末手当、勤勉手当について
(3) 市長、副市長の退職手当について
- 6 配布資料 [略]

7 会議要録

(主な意見)

- ・副市長については、給料・期末手当・退職手当とも減額率としては、市長とバランスをとるべき。
- ・代表監査委員の期末手当については、特別職ということで市長・副市長に合わせるべき。
- ・監査委員の独立性という問題からして、特別職として、職員と一線を画して、制度を職員に合わせないという考え方を出してもいいのではないか。
- ・厳しい財政状況の中、政令市になったときに、特別職すべてに減額というのはやむをえないのではないか。
- ・政令指定都市になると、議員さん一人ひとりが専門的な知識を持って政策決定していかなければならない。また、仕事の内容・量・レポーターも広がっていく。減額がいいのかどうか。
- ・議員報酬を減額すれば、若い方で本当にやる気のある政治に参加したいという方が、立候補できにくくなるのではないか。